

## 「里山の竹の管理と竹細工」 ～ミニ門松づくり&竹のコースターづくり

- 1 日 時：平成29年12月9日（土）  
8：30～12：00
- 2 場 所：あわら市波松（旧波松小学校体育館）
- 3 参加者：53人（大人21人、子ども19人、自然を愛する会12人、講師1人）
- 4 指導者：河田勝治氏（あわらの自然を愛する会）
- 5 主 催：福井県里山里海湖研究所  
共 催：あわらの自然を愛する会
- 6 日 程： 9：00 ～ 9：30 「竹についてのお話」  
9：30 ～10：00 「竹切り体験」  
10：00 ～11：00 「ミニ門松づくり」  
11：00 ～12：00 「竹のコースターづくり」

### 7 イベントの様子

当日の天気予報が雪であったため、波松民有林の森散策を中止しました。森散策の代わりに、参加者に向けて、あわらの自然を愛する会の河田氏より「竹についてのお話」をしていただきました。

#### 【竹についてのお話】

- ① 竹は、古くから竹垣、竹かご等に利用され、人のくらしと密着していたこと。
- ② 最近竹以外の素材が利用されるようになり、放置される竹林が増えていること。
- ③ アカマツやクヌギ、コナラの木を減らしていること。
- ④ 竹は、根の張りが浅いため土砂崩れの原因になること。

次に、のこぎりで竹を切る体験をし、その後、3つの班に分かれて「ミニ門松づくり」をしました。完成したモデルを見ながら、40分～50分で完成しました。最後に講師の谷内利太良氏の協力のもと、「竹のコースターづくり」をしました。森散策ができなかった分、工作にたっぷり時間をかけることができました。どの参加者も自分のできあがった作品に満足そうでした。冬のひと時を家族や仲間楽しんでいました。

